

大人数のオンデマンドe-Learning授業 を運用するためには

NEW!

林 敏浩(香川大学 副理事、情報戦略室 副室長、創造工学部 教授、
大学連携e-Learning教育支援センター四国 センター長、
大学教育基盤センター 副センター長、情報メディアセンター 情報監)

講師略歴

平成元年3月徳島大学工学部情報工学科卒業、平成6年徳島大学にて博士(工学)の学位取得。平成6年より佐賀大学理工学部講師、平成17年より香川大学総合情報基盤センター准教授、平成25年より香川大学 総合情報センター(現在、情報メディアセンター)教授。教育工学を専門として、大学全体の教育支援システムを含むコンピュータ・ネットワークシステムの導入、運用、管理、利活用支援まで広範に担当。

プログラム概要

コロナ禍に対する授業実施手法としてe-Learningが多くの教育機関で採用されました。このような授業実施の経験を踏まえ、対面授業との併用を前提としてe-Learningの利活用が今後も進むと考えられます。e-Learningを単に対面授業の置換として考えるのではなく、対面授業にないe-Learningの特徴を活かすことが肝要と言われています。例えば、時間割や場所に拘束されないので、学生の学びの機会を増やせます。しかし、このような制約が外れると大人数の履修者対応などの検討が必要になります。本授業では大人数のオンデマンドe-Learning授業(1クラス500~1000名を1名の教員で対応)を対象として、授業理念、設計、運用、実施に有用なノウハウなどについて実経験に基づき情報共有したいと思います。

準備物・事前課題

特になし。

主な受講対象者

大人数の履修者を対象とするオンライン授業の設計や実施に関わる教職員

到達目標

1. e-Learningの利点、欠点を説明できる。
2. 大人数のオンデマンド型e-Learning授業の授業理念、設計、運用の留意すべき点を説明できる。
3. 大人数のオンデマンド型e-Learning授業に必要な機器やシステムを提案できる。

日時

8月26日(金)12時30分~14時30分